



芸術の秋に郷土の芸術家を知る 南郷小で画家「中村琢二」の孫が特別授業

宗像が生んだ芸術家中村 研一氏と中村 琢二氏。

彼らは兄弟そろって日本芸術院会員に推挙されるなど、近代日本美術のアカデミズムの形成に大きな役割を果たしました。兄の研一氏は優美な女性像や戦争記録画で、官展の重鎮として活躍し、弟の琢二氏は力強いタッチと重厚な色彩の風景画で、独自の世界を築き、多くの賞を受賞しました。

9月9日(火)、琢二氏の孫で現代アーティストの中村 宏太氏が南郷小で特別授業をおこないます。

当日は全児童に向けて、祖父である琢二氏の話や故郷である南郷への想いを語ります。その後、5年生を対象に琢二氏の作品を用いたアート制作の特別授業をおこないます。

この特別授業により、郷土が育んだ芸術家から子どもたちがふるさとを学び、郷土への愛着を深める機会となることを目指します。



《中村琢二「セロを弾く男」》

【特別授業 概要】

○「中村宏太」氏特別授業

日時：9月9日(火) 13:50から

場所：南郷小学校

[全校集会(5時間目)] 13:50~14:05(会場:体育館)

対象:全校生徒 251人

[特別授業(6時間目)] 14:20~15:20(会場:家庭科室)

対象:5年生(2クラス 計49人)



《前回の特別授業の様子》

【参考】5年生が行う事前授業

内容：中村研一・琢二生家美術館での鑑賞授業(5年生の各クラス毎に実施)

期間：令和7年9月3日(水) (2時間目・9:25~10:05/3時間目・10:20~11:00) 予定

場所：中村研一・琢二生家美術館(宗像市宗像市原町159)

【問い合わせ先】※ご取材いただける場合は事前にご連絡ください

宗像市地域教育連携室 担当：南 TEL：0940-36-1169